

ピースデポ発足10周年記念シンポジウム

# 北東アジア 非核兵器地帯の可能性

日時：2008年2月23日（土）14：00～18：00

場所：有楽町朝日スクエア（有楽町マリオン11階）

## プログラム（総合司会：山中悦子）

- 14:00 開会あいさつ 湯浅一郎（ピースデポ副代表）
- 14:05～ 第1部 基調講演  
「北東アジア・平和の条件」 佐々木寛（新潟国際情報大学）  
「北東アジア非核兵器地帯の意義」 梅林宏道（ピースデポ）
- 14:55 第2部 議員フォーラム  
コーディネーター：田巻一彦（ピースデポ理事）  
パネリスト（発言順）：  
赤松正雄（公明党）  
阿部知子（社会民主党）  
猪口邦子（自由民主党）  
井上哲士（日本共産党）  
平岡秀夫（民主党）
- 16:25～ 休憩（10分間）
- 16:35～ 第3部 市民フォーラム「市民・自治体の役割」  
コーディネーター：湯浅一郎  
パネリスト：上原公子（前国立市市長）  
田中熙巳（日本被団協）  
丸山善弘（生活協同組合コープかながわ）
- 17:55 閉会あいさつ 横山正樹（日本平和学会、ピースデポ副代表）  
（終了予定 18:00）

- 本日午後6時半より、本会場にて懇親会（会費制：3500円）を開催します。  
参加ご希望の方は、休憩時間までに「受付」へお申し出ください。
- 明日（24日）午前10時より、全水道会館・中会議室（水道橋）にて「第9回ピースデポ総会」を開催します。どなたでも参加できます。

## 講師・パネリスト プロフィール (敬称略)

### ◆第1部

#### ◎佐々木 寛 (ささき ひろし)

新潟国際情報大学准教授。日本平和学会理事。専攻は、平和学・国際政治学。編著として、『東アジア<共生>の条件』(世織書房)、『東アジア安全保障の新展開』(明石書店)、共著として、『平和学のアジェンダ』(法律文化社)、『世界システムとヨーロッパ』(中央大学出版部)、『現代市民政治論』(世織書房)、『NPO/NGOと国際協力』(ミネルヴァ書房)、訳書として、デヴィッド・ヘルド『デモクラシーと世界秩序』(NTT出版)など。

#### ◎梅林 宏道 (うめばやし ひろみち)

ピースデポ代表、核軍縮・不拡散議員連盟(PNND)東アジア・コーディネーター、「中堅国家構想(MPI)」国際運営委員として軍縮、安全保障問題にとりくむ。『核兵器・核実験モニター』の編集責任者。著書に『在日米軍』(岩波新書)、『米軍再編』(岩波ブックレット)、『情報公開法でとらえた沖縄の米軍』『情報公開でとらえた在日米軍』『隠された核事故』など。

### ◆第2部

#### パネリスト※

※略歴は国会議員要覧より

#### ◎猪口 邦子 (いのぐち くにこ)

衆議院議員、自由民主党

現職：党国際局局長代理、外務委員

経歴等：少子化・男女共同参画相、上智大教授、軍縮会議日本政府代表部特命全権大使、軍縮会議(ジュネーブ)議長。

#### ◎平岡 秀夫 (ひらおか ひでお)

衆議院議員、民主党

内閣委員、財務金融委員、党常任幹事、党ネクスト・キャビネット金融担当副大臣

経歴等：党ネクスト・キャビネット法務大臣、党県連代表、弁護士、大蔵省、国税庁法人税課長

#### ◎赤松 正雄 (あかまつ まさお)

衆議院議員、公明党

現職：予算委員、安全保障委員、国際テロ防止特別委員会理事、党安全保障部会長

経歴等：厚生労働副大臣、国土交通委員長、代議士秘書

#### ◎井上 哲士 (いのうえ さとし)

参議院議員、日本共産党

現職：国家基本政策委員、外交防衛委員、政治倫理選挙特別委員、党参院国対委員長



経歴等：衆議院議員秘書、「赤旗」記者

◎阿部 知子（あべ ともこ）

衆議院委員、社会民主党

現職：予算委員、厚生労働委員、党政政策審議会会長、イラク支援特別委員会委員

経歴等：小児科医、元千葉徳洲会病院長

### コーディネーター

◎田巻 一彦（たまき かずひこ）

ピースデポ理事。「脱軍備ネットワーク・キャッチピース」運営委員。神奈川での日韓連帯運動、「トマホークの配備を許すな全国運動」などに参加、現在に至る。

## ◆第3部

### パネリスト

◎上原 公子（うえはら ひろこ）

東京・生活者ネットワーク代表。東京都国立市市会議員。水源開発問題全国連絡会事務局。国立市景観権裁判原告団幹事。以上を経て1999年5月、国立市長に立候補し当選。以降、2期8年間市長を務め、2007年4月に退任。著書（共著）として、『〈環境と開発〉の教育学』（同時代社）、『どうなっているの？ 東京の水』（北斗出版）、『地球を救う133の方法』（家の光協会）、『国民保護計画が発動される日』（自治体研究社）。

◎田中 熙巳（たなか てるみ）

県立長崎中学1年在学時、原爆被爆。5人の身内の命を一挙に奪われ、伯母を野原で茶毘に付す。74年から、被爆者運動に関わり、日本被団協の役員を歴任。2000年から日本被団協事務局長に。78年の第1回国連軍縮特別総会をはじめ、国の内外での、被爆の実相証言活動を行う。05年NPT再検討会議期間中の国連本部での原爆展を主催（日本被団協）。07年、2010年NPT再検討会議準備委員会NGOセッションで発言。

◎丸山 善弘（まるやま よしひろ）

1952年、山梨県生まれ。1974年、横浜生協に入職。生協内で、生産、物流、商品政策、商品調達・開発、品質管理等の部署にて勤務。2004年より現職。コープかながわ 理事・常務執行役員組織本部長。

### コーディネーター

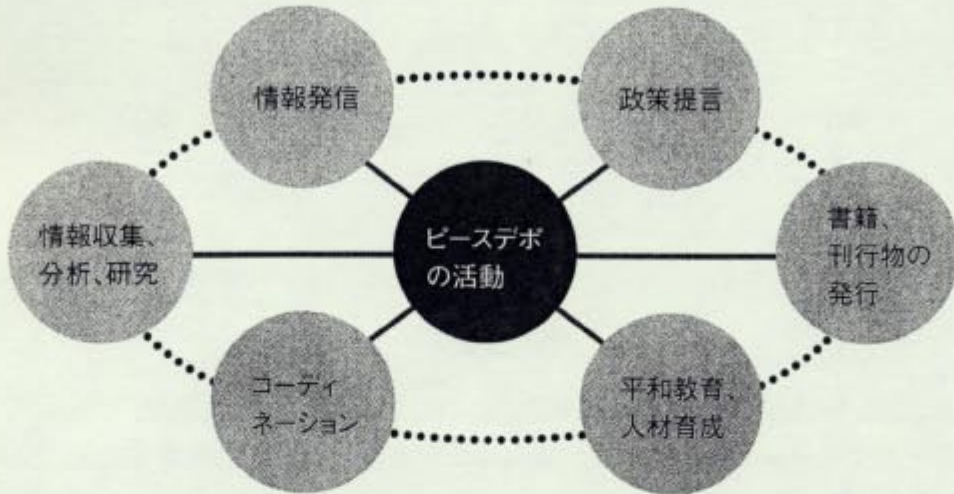
◎湯浅 一郎（ゆあさ いちろう）

ピースデポ副代表。ピースリンク広島・呉・岩国世話人、脱軍備ネットワーク・キャッチピース全国運営委員、核兵器廃絶をめざすヒロシマの会運営委員、環瀬戸内海会議顧問、芸南火電阻止連絡協議会。専門は海洋物理学、沿岸海洋環境学。著書に「平和都市ヒロシマを問う」「地球環境をこわす石炭火電」。



# 「情報」で平和活動の基盤をつくる—— ——平和への「新しいビジョン」を提案する。

いま、日本、そして世界において、「軍事力が平和を担保する」という考え方が主流となっています。しかし、こうした軍事先行の安全保障論は、さらなる不信と暴力の連鎖を生み出します。軍事力に依存せずとも、市民の平和や安全を確保することは十分に可能です。それは、平和憲法に基礎をおいて、まず東北アジア地域の協調的安全保障の枠組みを創り出すことです。ピースデポは、「軍事に頼らない安全保障体制」の構築に向け、タイムリーな情報発信、具体的な政策提言を行い、平和政策に関する国内・国際的議論の活性化に努めています。



#### ■「核兵器・核実験モニター」の発行

ピースデポが月2回発行している「核兵器・核実験モニター」は、平和のビジョンを創造するための情報誌です。関心ある市民、ジャーナリスト、研究者、平和運動家などを対象に、各国の核政策や国連の動向、日米安保、米軍基地問題、関係する世界のNGOや自治体の動きなどを伝えています。1995年の創刊以来、一次情報に基づく正確な分析と価値ある資料は高く評価されてきました。掲載記事はメディアや自治体に活用されています。毎年更新の「地球上の核弾頭全データ」は、「イミダス」(集英社)にも引用されました。

#### ■イアブック「核軍縮・平和」の発行

核軍縮と平和・安全保障に関する過去一年の動向を、市民や自治体の視点で整理し、解説したイアブック(年鑑)を毎年夏に発行しています。わかりやすいキーワード形式での解説が好評を得ています。一次資料、データ、図解を豊富に掲載しています。

#### ■在日米軍の実態調査、日本の防衛・外交問題の調査

日米の「情報公開法」を活用しての調査活動は、ピースデポが行ってきた重要な先駆的活動です。最近では、米国のミサイル防衛初期配備に関連して米海軍のイージス艦の動きを調査し、新たな重要事実を明らかにしました。このほかにも、米軍再編問題、原子力空母の母港問題などに関して調査・分析を継続しています。

#### ■国際的なネットワーク

ピースデポには、各国で活躍するNGOとの強いネットワークがあります。情報の相互交流、共同研究プロジェクトの実施、国連でのワークショップ共催など、さまざまな場面で海外NGOとの連携が活かされています。最近では、韓国NGOと共同で、日韓両語によるツイン・ブックレット「東北アジア非核兵器地帯」を作成しました。日韓の市民社会に広く構想を普及しようとしています。

#### ■平和NGO活動者・研究者の養成

ピースデポは、国際会議、海外NGO行事への派遣や、セミナー・研究会の開催などを通じて、次世代を担う若手活動者・研究者の養成に力を注いでいます。

#### ■個人・団体間のコーディネーション

さまざまな個人や団体が協力しあったり、共同行動をとるための触媒となることも、ピースデポの大切な役割の一つです。

■その他にも、執筆、単行本出版、取材協力、講演、セミナー・講演会の開催など、さまざまな活動を行っています。



\*\*\*\*\*

**あなたの力が必要です。ぜひ会員になって、  
私たちの活動を支えてください。**

詳しくは、ピースデポのホームページ (<http://www.peacedepot.org>)  
または、「入会のしおり」をご覧ください。